

# 東丹沢方面：丹沢フォーラム

令和7年11月8日（土）

<「丹沢フォーラム」に派遣講師として参加しました>

- 丹沢自然保護協会が春と秋に2回行っている「丹沢フォーラム」に参加しました。これは専門家と一緒に現場を視察し、丹沢の抱える様々な課題を知り考える市民参加のイベントです。今回は、神奈川県が行っている登山道整備の在り方、高標高域における自然再生の取組を説明するための講師としての参加です。主な説明は丹沢の自然再生に係る課の職員が、パークレンジャーは自然公園指導員と行った登山道補修活動について説明しました。コースは境沢林道の終点から沢沿いを登り、新大日手前で長尾尾根と合流、そのまま長尾尾根を下ります。



- 境沢林道終点から長尾尾根までは登山道が崩落したため長い間通行止めの区間でした。再開を検討する際に前のルートの完全な修復は難しいとして、新たに登山道を付け替えています。沢を横目に丹沢の地形、土壌流失に対する取組の説明を行いました。



土石流時に効力を発揮する  
スリット式堰堤



境沢を見ながら隆起してきた丹沢の地形の  
特徴について説明している様子



急登の途中には展望がよく  
紅葉も楽しめました



葉の特徴によって土壌が露出し  
流失しやすくなってしまうヒノキ林

●長尾尾根では高標高地における植生保護柵の効果や登山道補修の成果を実際に確認しました。尾根沿いの管理が難しい人工林における課題、植生保護柵外における自然再生への対応など実際に現地で感じ、各々で考えるきっかけになっていると嬉しいです。



尾根の両脇で林相が異なるため人工林と  
広葉樹の林の様子を比較しやすい



広葉樹内にある植生保護柵  
(柵内の植生は大きく回復している)



人工林内の様子（管理により徐々に回復中）



自然公園指導員と行った登山道補修個所の説明

●急登のある長いコースで説明を聞きながら歩くという盛り沢山の1日でしたが、参加者の皆様は紅葉を楽しみつつ熱心に話を聞いてくださいました。ありがとうございました。